

## 【市民の皆様へ】

# ワクチン二回目接種後の副反応の対応について (お 願 い)

北見医師会  
北見薬剤師会

市民の皆様、二回目のワクチン接種を終えられて、コロナ感染や重症化予防の観点から大きなご安心を感じていることと推察致します。

さて、今回皆様が接種されたワクチン（米国ファイザー社製）は、各国並びに我が国において多数の方々に既に安全に接種されております。他方我々医療関係者も既に先行して接種しましたが、注射局所の痛みや上腕の痛み、さらには発熱、頭痛、倦怠感などの副反応がかなりの頻度で発現することがわかっております。多くの場合はいずれも、1～2日間程度で自然に軽快します。

しかしながら、ワクチンによる抗体形成の過程において、特に比較的若い人で免疫反応が強く出て、発熱や頭痛などの症状を訴えることがあるようです。

これらの副反応は、安全性の観点から解熱鎮痛薬（アセトアミノフェン）の使用により改善がみられます。

このお薬は広く扱われており、最寄りの薬局または調剤薬局でお買い求め出来ますので、薬剤師にご相談の上、服用していただきたいと思えます。

二回目接種での副反応の出現率は38.4%程度とされておりますので、皆様が発熱や頭痛等が出たため、慌てて「発熱外来のある医療機関」を受診されますと、当該医療機関の診療機能の低下が懸念されます。

このようなことから、慌てずに自然経過観察、解熱鎮痛薬の服用での対応、あるいは三日以上の発熱、他の症状が続くなどご心配の場合は、「かかりつけ医」にご相談いただきますようお願い申し上げます。